

地域ボランティアに参加した作業療法学科学生のコメント

【ボランティアが始まる前と後の気持ちの変化について】

初めてのボランティアで緊張していた学生が徐々にその場に慣れていった様子や、サポートしていただいた周囲の皆さんへの感謝の気持ちなどが聞かれました。

- 小野里さん「参加する前は上手くコミュニケーションがとれるか心配だったが、高齢者と一緒に過ごしてみて、お話をすると自分から沢山話してくれたので、話が盛りあがってとても楽しかった」
- 志田さん「初めてのボランティアでとても緊張したが、体操や歌を歌って楽しくボランティアできた」
- 池田さん「経験も無く、知識も浅い自分が歓迎されるか不安だったが、優しい方ばかりで色々とお話をしてくださって安心した」
- 池側さん「どのように接していいのかわからず、はじめは少し困惑したが、参加者の方やサロンのスタッフの方々が親切に接してくださったので楽しく過ごすことができた」
- 福本さんは「自分がラグビーをしているという話をしたところ、利用者の方と『ラグビー部が強豪の会社に務めていたから応援によく行っていた』と言う話題になり、話が盛り上がった。とても楽しい時間を過ごせた。どんなことで話題が広がるかわからないので、これからも様々なことを経験していきたいと思った」

【今回の経験全体を振り返って】

地域の方々を巻き込んだ介護予防の取り組みや作業療法士が果たすべき役割について、学生達は学びを深めたとともに、今後の地域ボランティア活動への意欲も見せていました。

- 小野里さん「高齢の男性は女性と比べてなかなかこのような場に参加する機会が少なく、男性だけの会を作って少しでも楽しく過ごしてほしいと考えていると説明を聞いた。ボランティアを通じて、自分たちと年齢の離れている方々との楽しい時間を多く過ごしたいと思った」
- 福本さん「作業療法士も地域にて活躍することがあると教えてもらい、自分の出来ることがまだまだ多くあるのだと知ることができて良かった」
- 青木さん「普段は関わることの無い世代の違う方々と体操や歌声喫茶を通して交流することでたくさんコミュニケーションをとることができ、いい経験になった」
- 池田さん「今回参加してみて、新たに勉強になったこともあった。今後もいろいろな地域ボランティア活動に参加したいと思った」